

榛原西小だより

文責 校長

教育目標
 人権尊重の精神を基盤として、自ら学び、豊かな生活を創る、心身ともにたくましい子の育成

めざす児童像

- ・よく学びよく考える子
- ・自分も人も大切に子
- ・明るく健康でたくましい子



いのちを輝かせて生きる君たちへ—卒業式に向けて—

第16回榛原西小学校卒業証書授与式を3月18日（金）に挙ります。感染の状況にかんがみて、在校生は5年生の代表参加、来賓は市教育委員会からの1名様に絞っての式となりますが、その分、心を込めて卒業生を送り出せるよう準備を進めています。

下級生のお手本となり、立派にがんばってきた6年生。卒業式で手渡す卒業証書は、6年間毎日毎日小学校に通って学びを積み重ねた成長の証し。一枚の紙に込められた重みを感じて一人一人に渡します。

卒業まで残り3週間。一日一日を大切に、学校生活を送ってほしいと願います。

なかま集会 — 命はつながる、人はつながる —

2月17日（木）に第4回なかま集会を行いました。みんなの広場の受講生が、チャングの演奏を披露したり活動したことを発表したりしました。また、交流を続けてきたアクティブセンターうだとココットの皆さんにも集会に参加していただき、活動の様子を教えてくださいました。

「命はつながる、人はつながる」さまざまな場面で子供たちに伝えてきた言葉です。地域にはさまざまな人がつながりながら暮らしています。世界にはさまざまな文化、言語、習慣をもつ人々が暮らしています。これらの人々のことを知り、仲良くつながることで、豊かさを感じ取れる人となるように、人権教育を進めてきました。そのまとめになる素敵な集会となりました。



良質の日本語を生で — お話会 ブックトーク —

2月21日（月）の3時間目、榛原本を楽しむ会から10名の皆さんに来ていただき、各学年でお話会とブックトーク（本の紹介）をしていただきました。

初めに「お話のろうそく」を灯して雰囲気を作り、語り聞かせや絵本の読み聞かせをしてくださると、子供たちはお話の世界に引き込まれていきました。お話を聞くと、子供たちの脳裏には言葉から引き出された映像が広がり、生き生きと動き出していたに違いありません。生で良質の日本語を耳にする体験を通じて、お話を聞くことの楽しさを味わっていました。テレビや、ネット動画、ゲームの世界で遊ぶことが多い日常の言語環境に暮らす子供たちにとって、ゆっくりとお話を味わう素敵な時間となりました。

3月の行事予定		
日	曜	行事
1	火	全校朝の会
2	水	6年生を送る会
3	木	PTA 新旧引継会
8	火	Sカウンセラー来校日
9	水	人権を確かめ合う日 委員会活動
16	水	卒業式予行 給食最終日
17	木	卒業式準備
18	金	第16回 卒業証書授与式
卒業式には在校生代表として5年生だけが参列します。1年生～4年生は登校せず、自宅で卒業生をお祝いします。		
24	木	修了式・離任式
25	金	春期休業開始



学校コミュニティ協議会・学校評議員会

2月18日（金）にPTAの会長副会長、学校評議員、地域コーディネーターの皆さんにお集まりいただき、榛原西小コミュニティ協議会・学校評議員会を開きました。

保護者アンケートの結果やパートナーシップ事業についてお伝えし、次年度に向けての御助言をいただきました。



コミュニティ協議会へのご協力を

榛原西小学校コミュニティ協議会は、平成25年に発足し、地域の方々からさまざまなご協力をいただきました。

これまで、池田孝志さんがコーディネーターとしてお世話をしてくださいました。お子様は卒業されますが、今後も引き続きお願いできることになりました。また、新たに保護者の吉村祥吾さんもコーディネーターになってくださることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

コーディネーターの定員はありません。ご自分のできる範囲で、さまざまな地域人材を学校教育のため、子供たちのためにつなぐお手伝いをしてくださる方を募集しています。学校と地域を結び、地域ぐるみで子供たちを育てるためにご協力をよろしくお願いいたします。

地域に根差す特色ある学校づくりのために

宇陀市学校適正化推進委員会が組織され、令和5年12月を目途に宇陀市全体で具体的な小中学校のあり方が検討されます。本年1月に第1回の委員会が開かれ、話し合いの内容は「宇陀市学校適正化推進委員会だより」をお配りして保護者の皆さまにもお知らせしたところです。

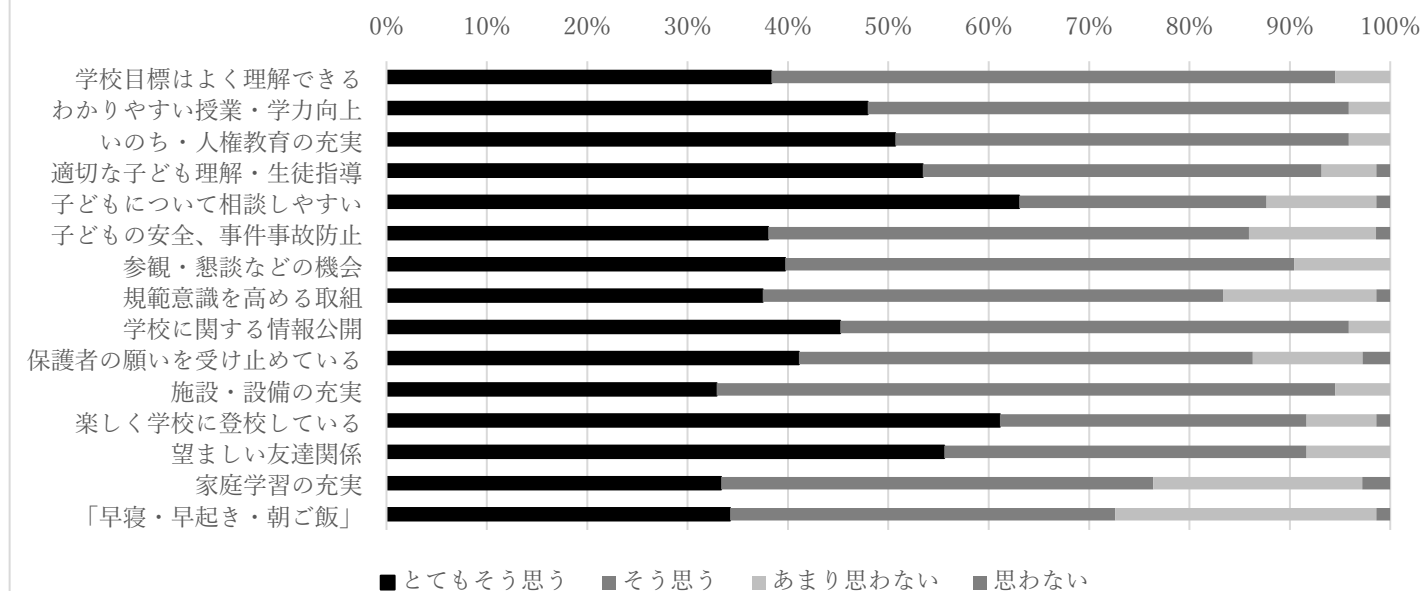
学校は、この委員会の発足を受けて「特色ある学校づくり」の考え方を保護者や地域の皆さんに示すことを求められています。学校としてこれまでの歩みを踏まえながら「特色ある学校づくり」の考え方を学校内で検討し、今後の方向性を検討しているところです。まとまりましたら改めてお示ししますが、参考までに現時点での素案を以下に示します。

PTA会員の皆さまには宇陀市と本校校区の子供たちの未来のためにご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。学校の意見は宇陀市の校園長代表を通じて、また保護者の意見はPTA代表委員の吉村祥吾さんを通じて、委員会に集約します。

- 榛原西小学校は、平成25年度に学校コミュニティ協議会を立ち上げ、学校運営に地域のさまざまな協力を得てきました。
- これまで、アイガモ農法の稲づくりやわら縄づくりなど、地域の生活文化に根差した体験活動を行ってきました。また本年度は、地域の宇陀家畜市場から特産物大和牛につながる地域素材を教材化し、児童に郷土への愛着と自尊感情を育む取組を進めました。
- これらの取組を踏まえて、地域の「人」「もの」「こと」と学校をつなぎ、明るい地域の未来像を描きながら、子供たちが自分の生まれ住む土地の風土や人々の働きに肯定的な感情を育む教育を進め、家庭・地域と共にある学校づくりを目指します。
- 同時に、地域の協力を得ながら、地域史・地域文化を掘り起こして保存蓄積する場所として学校を機能させ、その中からさらに地域素材の教材化を進めます。
宇陀の自然と歴史、地理が織り成す風土の中で、宇陀びとが営む暮らしに紡がれてきた、なりわい、ならわし、言い伝え、祈りと祀りなど、宇陀の地に刻まれた「モノ」と「コト」の記憶を掘り起こし、宇陀が宇陀であるためのしるべとして保存蓄積する場所です。
- このような学校像を実現するために、学校と地域がさらに結びつき、協力していける形はどうあるべきかを検討します。
- 本校の児童数減少の原因は「少子化」（女性が一生の間に産む子供の数が減っていること）にあるのではなく、親世代の住民の減少にあります。校区の地域コミュニティが適切に維持されるよう、親世代の定住を促進することも大切であると考えます。

※ 学校評価の保護者アンケートにご協力ありがとうございました。結果を裏面に掲載していますのでご覧ください。

令和3年度 保護者アンケート結果



- 少人数で、学年をこえて仲良くできる。縦割り活動があり、みんなで交流できる。
- あいさつがしっかりできる。
- 素朴な学校でよい。
- 上級生が下級生に優しく接してくれる。
- それぞれのクラスのカラーがあり、担任の先生が変わっても引き継いでカラーを守ってくれているところ。
- 全員の名前、顔を子ども同士で把握できるところ。
- 街中の学校とは違う小高い丘の上にある景観の良さ等、豊かな感性を育むと思う。
- 少人数なので、先生方の目が行き届いていて、一人一人細かな部分まで関わってもらえる。
- 困ったことは、きちんと受け止め、話を聞いて対応してくれるところ。信頼できる。
- 先生がみんな明るく接しやすい。子どもたちをあたたかく見守ってくれている。
- どの子も分け隔てなく見てくれ、その子のペースに合わせてくれるところ。
- 一人一人の個性を大事に伸ばしてくれるところ。
- 地域の方や企業など関わる授業があり、子どもたちにとって良い経験になっている。

- △ コロナ禍ではあるが、少人数だからこそ、もっと学校行事1つ1つを大切にしてほしい。
- △ 子供の安全に関する危機管理。急を要する連絡等の対応。
- △ 人権教育や防犯対策など具体的にどのような取組をどれくらい実施しているのかなど可視化されていない。
- △ 登校の可否等、コロナ禍の対応について、電話してもすぐに答えてもらえなくて困る。
- △ 誤解を受けている場面が多いように思うので、保護者の理解を得るための場を設けたほうが良いかもしれない。
- △ 少人数なのに、目が行き届いてない部分がある。友人関係の逃げ場がない。

- 良いところは本校の特色として、今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。
- 学校行事については、新型コロナウイルスの感染状況や児童の気持ち、安全面に配慮しながら進めてきました。今後も、教育委員会の指示を仰ぎながら、計画していきたいと思えます。
- 学校の取組については、今後も学校だよりや学年通信で保護者の理解を得られるよう、お伝えしていきたいと思えます。
- コロナ対応については、感染状況が変化すると対応が変わることもあり、保健所や教育委員会の指示を仰ぐ必要があります。そのため、問い合わせへの返事に時間をいただくこともあります。御理解いただくとありがたいです。
- 学校の施設・設備に関しては、児童の安全を考え、教育委員会に予算等も含め、要望を出しているところであります。

貴重な御意見、御提案、本当にありがとうございました。いただいた御意見、御提案を参考に、来年度も教職員一丸となって、子どもたちのための学校づくりに努力します。今後もよろしくお願いいたします。